

令和5年 新年号
仙台市議会議員(泉区)

細野 たかし



発行：市民フォーラム仙台 編集：細野たかし 〒981-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1

令和4年12月7日から22日まで仙台市議会第4回定例会が開かれました。

本定例会では仙台市政全般について質疑をする「一般質問」に立たせていただきました。単身高齢世帯などで増加している「ごみ出し困難世帯」への支援や、小中学校の「部活動地域移行」への課題について取り上げました。引き続き市民の皆様の生活向上に寄与できるよう活動して参ります。

細野 たかし プロフィール

- 1981年(昭和56年)3月生まれ(41歳)
- 岩手県盛岡市 出身
- 家族：妻、長女、長男、次女、犬1頭
- 2019年(令和元年)8月仙台市議会議員選挙 初当選
- 館中学校PTA会長
- 館4丁目西町内会 副会長
- やかたおやじの会「パンプキン」副会長
- 仙台市泉消防署 小角消防団 団員
- 自治労仙台市職員労働組合 特別執行委員 (組織内議員)
- 自治労宮城県本部 特別執行委員

令和4年12月15日 仙台市議会 一般質問 抜粋・概要

○「ふれあい収集」の導入と現業職員の適正な採用計画について

昨年12月に行われた令和4年第4回定例会の一般質問にて、本市環境局が担っているごみ収集に関する喫緊課題について当局を質しました。高齢者人口が増加している本市において、集積所まで自力でごみを排出できない単身高齢世帯が増えています。他都市の状況をみると、半数以上の政令市では「ふれあい収集」という事業を行っており、市職員が単身高齢者や要介護認定を受けているなどのごみ排出困難世帯を週一回程度訪問し玄関先でごみを収集、希望世帯には安否確認も行うというものです。利用世帯はもちろんのこと、離れて暮らす家族世帯からも自治体直営によるコンプライアンス遵守などの点に高い評価がされています。通常的生活ごみの収集は民間委託されているため、直営で十分対応できると考え実施に向け当局を質しました。現在、即時実施は考えていないとの答弁でしたが、課題解消に向け、今後も強く実施を求めて参ります。



また、本市現業職員の採用停止が続いていることも深刻な課題です。ごみの収集業務や給食調理、学校用務員などの新規採用がなく技術や知識の継承が行われなことは本市のセーフティーネットとしての役割を妨げる事態であり、将来を見据えた人員計画を早急に立てなければならず、総務局長に対し実行を強く求めました。

○ 小中学校の「部活動地域移行」の課題について

次に、学校部活動の地域移行の課題について質問しました。

これまで、文部科学省は学校での部活動について、教科学習とは異なる集団での活動を通じた「人間形成の機会」や、「多様な生徒が活躍できる場」であるとし、学校教育の一環としての役割、意義がある、としていました。その一方で、昨今、部活動の顧問を担う教員を含め業務量の負担増が問題視されております。このことからスポーツ庁及び文化庁は「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(案)」を定め、少子化による廃部や顧問教員の負担軽減のため部活動を学校教育から切り離し、いわゆる習い事に位置付けるとしています。しかし各地域で外部指導者を安定的に配置できるのか、その指導者への報酬負担が新たに発生するため月謝が払えず地域クラブ活動を諦めざるを得ない世帯が増えるのではないかなど、整理しなければならない課題が山積しています。間違っても「地域移行」を各学校へ丸投げすることのないよう、教育長に本市が予定している地域移行の手法について質しました。



実際の質疑内容は仙台市議会ホームページでご視聴いただけます。

https://sendai-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=play_vod&inquiry_id=6122



お困りごとや課題を
お聞かせください

仙台市議会議員 細野たかし 市政広聴シート

お名前	ご住所 〒	—	電話番号	—	—
-----	-------	---	------	---	---

お困りごと・課題など

専用FAX. **022-778-8665**



hosono@dune.ocn.ne.jp

いただいた情報をもとに調査し、地域の問題解決に活かしてまいります。